

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 10 日作成)

| | | |
|------------------------------|--|---|
| 小委員会名 | 設計方法小委員会 | 主 査 名：和田 浩一 就任年月：2020 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 建築計画委員会 (計画基礎運営委員会) | 委員長名：小野田 泰明 主 査 名：日色 真帆 |
| 設 置 期 間 | 2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>(設置目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築・都市・環境の設計方法に関わる理論や実践を広く調査・収集・整理・体系化することにより、それらの成果を広く会員に敷衍させ、設計・デザインの質的向上に貢献する活動を継続的に行う。 ・ 設計・デザイン研究に関連する他学会と連携して、我が国のデザイン研究分野の発展に寄与する。 ・ 人工物のプロダクトレベルのデザインや、そこに反映される、あるいはデザインがもたらす様々な背景情報・制約条件・社会システム等のメタレベルの「関係性のデザイン」、「対話によるデザイン」に関する検討・提案を行う。 ・ さまざまな社会システムの再構築が求められる状況下において、社会的価値を創出するためのデザインのスコープ・プロセス・マネジメント等の方向性をさぐる。 <p>初年度：これまでの設計方法研究の流れをレビューし、設計方法の理論、用語、手法等を集成してまとめる。また、設計方法「新しいデザイン潮流」に関連する事例収集・調査研究活動し、デザイン関連他学会との連携を行う。</p> <p>2 年度：設計方法の理論、用語、手法等の集成を引き続き行い、設計方法の教科書を出版する。また、デザイン関連他学会との連携 (Design シンポジウム 2021 の開催)を行う。</p> | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：有 | |
| | 主査：和田 浩一 (職業能力開発総合大学校) 幹事：酒谷 粹将 (関東学院大学)、脇坂 圭一 (静岡理科大学) 委員：関 博樹 (東京都市大学)、山口 純 (横浜国立大学)、五十嵐 雄哉 (清水建設)、日色 真帆 (東洋大学)、武田 有左 (明星大学)、遠藤 政樹 (千葉工業大学)、大西 康伸 (熊本大学)、近藤 伸亮 (東京大学)、仲 隆介 (京都工芸繊維大学)、長坂 一郎 (神戸大学)、渡邊 朗子 (東洋大学)、本江 正茂 (東北大学) | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | <設計方法レビューWG>主査：日色真帆 (9 回/年) *設計方法に関する理論、用語、手法等を集成し、これまでの設計方法研究の流れを位置づけ、新しい動向を捉えたレビューを行う。それらの成果を、書籍としてまとめて刊行し、設計方法の教育にも資するようにする。 | |
| 2021 年度予算 | 135,000 円 | ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s7/ |

| 項 目 | 自 己 評 価 |
|---|---|
| 委員会開催数 | 小委員会+WG 合同委員会 10 回 (大会プログラム編集・年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は 除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画 | |

| | |
|--------------------------------|---|
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | <ol style="list-style-type: none"> 1. WG と合同でデザイン方法論に関する書籍の刊行準備を進めた。 2. 他学会と連携し、Design シンポジウム 2021 を開催した。 |
| 委員会活動の問題点・課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 書籍刊行に向けた進捗 (遅れ)。 2. 委員会 HP の充実 |